

「プラド美術館展」開催に合わせた特別講座。西洋の名画に隠されたメッセージを豊富な知識で読み解く「怖い絵」シリーズで知られるドイツ文学者・中野京子さんに、スペイン・ハプスブルク家の栄枯盛衰と宮廷画家・ベラスケスについて、独自の視点から語っていただきます。終了後は、「プラド美術館展」を自由に鑑賞。展覧会をより一層楽しむことができます。

プラド美術館展 ベラスケスと絵画の栄光
6月13日(水)～10月14日(日) 兵庫県立美術館
スペインが誇る美の殿堂プラド美術館から、日本では過去最多となる、巨匠ベラスケスの傑作7点を中心に、歴代スペイン王によって収集されたティツィアーノ、ルーベンス、スルバランらの名品70点を展示し、17世紀絵画の黄金時代を紹介いたします。

主催：兵庫県立美術館、プラド美術館、読売新聞社、読売テレビ

中野京子が語るプラド美術館展の見どころ 宮廷画家と王家の人々

主催：大阪よみうり文化センター 後援：読売新聞大阪本社



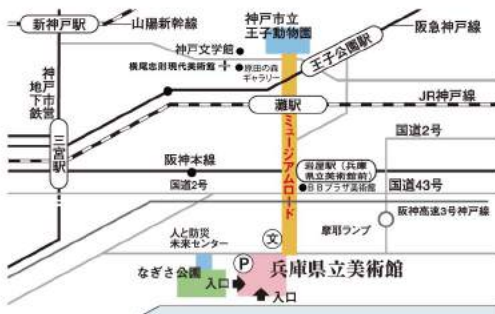
2018年
7月7日
(土)
14:00～15:30

- 会場** 兵庫県立美術館 1階ミュージアムホール
- 定員** 250人(先着順) ※定員になり次第、締め切ります
- 受講料** 4,000円(観覧料を含む)

中野 京子 (なかの・きょうこ)

作家・ドイツ文学者。2017年「怖い絵展」特別監修者。西洋の歴史や芸術に関する広範な知識をもとに、絵画エッセイや西洋史解説書などを多数発表。著書に「怖い絵」シリーズ(角川文庫)、「名画の謎」シリーズ(文藝春秋)、「イギリス王家12の物語」(光文社新書)、「はじめてのルーヴル」(集英社文庫)など。最新刊は「100分de名著 シンデレラ」(NHK出版)「アートギャラリー ノード巻」(集英社美術全集)。

ディエゴ・ベラスケス《王太子バルタサル・カルロス騎馬像》(部分) 1635年頃 マドリッド、プラド美術館蔵 ©Museo Nacional del Prado



お申込み・お問い合わせ よみうり神戸文化センター

TEL. 078-392-3290



ホームページからもお申し込み・問い合わせができます
お客様の個人情報は、個人情報保護法及び当社の個人情報取り扱い方針に基づき厳重に管理し、適正に取り扱います。詳しい内容については当社のホームページをご覧ください。